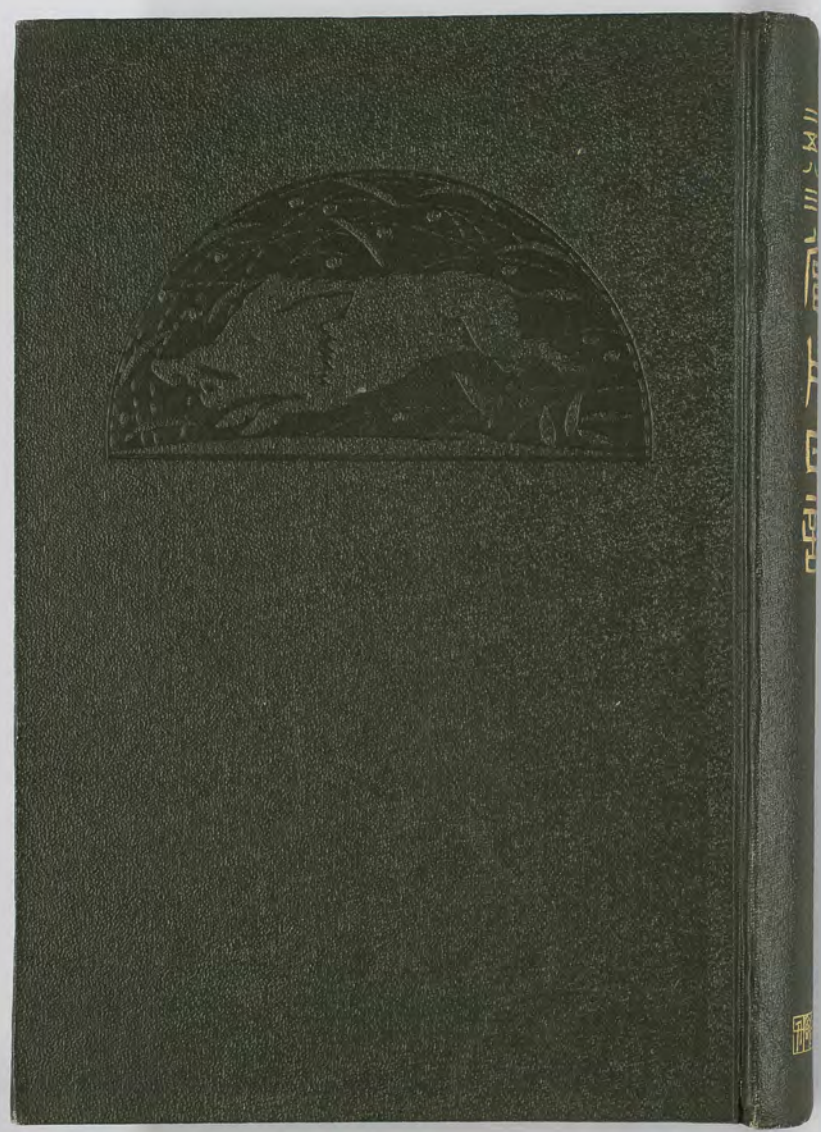




以下日記頁のみ撮影 (1月1日～12月31日)

以下未記入省略

癸亥年閏五月十六日 星期三 戊戌大闢

[illegible]

暖何如無感
無感
孔

(二元延) す死戰顯義田新城花崎金 (二應嘉) す流に島大を朝陽源

69

癸亥年正月 日 月 三 臘月 丑

[illegible]

68 (○一正大)死弱名餘十八百六没沈に近附頭満九受豊 (二銅和)す征を夷盟の後越奥陸

68



 木 辰

三 月 八 日

癸亥年正月十一日

15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----

卷之四

後記

(二覽大) む 定 を 衡 量 度

71

癸亥年閏正月
二十日

三 月 七 日

水 已

[illegible]

錄記

此後

70

(八三治明) 戰會大天奉 (三一長慶) ろ生樹藤江中

癸亥年正月十三日 三月初十日 午 下 三時三十分

[illegible]

(一正大) (正月七日) 會開會覽博念記和平 (八三治明) 傾占天奉 (五二帝仁垂) 成廣大勢伊 73

癸亥閏正月 二十九日 金

[illegible]

72 (〇一正大) お及に局氣電件市縣縣市京東 (五治明) す稱と兵衛近を兵親

種別	品名	数量	単位	備考
				山北、湯鉄川村七長リ集り 多人数、古所

[illegible]

宣 庚

三 月 十 八 日

癸亥二月二日

[illegible]

(一九八一) 通話電話め始に間里巴敦倫 (三六八一) 驚同映地ズエス

84

癸亥年二月二日

三 月 十 七 日

月 新 ● 曜 上
分 一 十 五 時 九 後 丑 巳

[illegible]

80

(○一正大) す開公を書私の々云品珍の裁書會政憲藩加氏郎一字岡廣

火曜
辰 壬

三 月 二 十 四 日

癸亥年二月二日

[illegible]

(二一治明) く開を會府てめ始府京東 (六仁弘) 予績をふ買を馬の羽出奥陸

83

月二四亥癸
日

三 月 十 九 日

岸 彼

[illegible]

82 (〇一正大) 印偶約條和爾被露 (〇二治明) 布公法親得所 (元治正) 流配人上覺文

癸亥年三月二十二日

[illegible]

(九二治明) 成藩樂新行本目 (二三八一) す假テエゲ

85

三月二十一日 癸亥二月

[illegible]

84 (八二治明) る成約條國馬 (一一正大) 戦激の岳ヶ嶺 (二和承) 寂入師大法弘

中

日四十二月三

月二四亥癸

日		時		刻		分		秒		辰		巳		午		未		申		酉		戌		亥	

(八二拾明) ろらせ原田章機李 (元治文) 辰の種ノ種

87

月二四亥癸

日三十二月三

日

日		時		刻		分		秒		辰		巳		午		未		申		酉		戌		亥	

(七正大) †擊砲を里巴て以を砲隊計長軍師 (二拾明) ‹設を校學小に縣府

86

以下未記入省略

〔顧全〕
重 任

三 月 三 十 日

月二四亥時
日 四 十

[illegible]

(三一拾明) 歌發洪田村 (三應正) 飾落御皇上草深後

93

癸亥年二月
十三日

三 月 二 十 九 日

問答
五 卒

[illegible]

92

(二治明) む定を續けてめ始 (一政次) る生臣國野平

水 丁

四 月 四 日

癸亥年二月二十九日

[illegible]

(○一正大) 布公法穀米 (四治明) す禁を定む猪紙 (元喜延) す幾平時原勝

99

癸亥年二月二日
十八

四 月 三 日

神武天皇

火 曜

[illegible]

(○一正大) 歌無害被雨風暴大得一束四 (八一正大) も園を埒願田小吉秀

95

癸亥年四月十日

[illegible]

(二二四) む定を制の章勳等勳 (五治明) す廢を鼓太報時内城皇

105

癸亥年四月二十九日 八世 月 壬子

[illegible]

101 (一正大) 布公制村町市正改及法空航(五六八一)る修爭電北南國米(三頓部)中此種家願願

明治
二十

日 四 十 月 四

月二回亥交
日九十二

姓	名	職	備考
			午後六時 二重橋まで 白耳式交差(内) 歓迎吹奏合 燕尾服(内) 袴袴 酒

(一正太) 月三歌戸矢焼火大船宿(八治明) 算設院二の器大老元(二樓壁) 本屋作書彩真

109

月二回亥交
日八十二

日 三 十 月 四

明治
二十

姓	名	職	備考

108

(七治明) (就に刑手新結江 (三安國) みるさ殺諸兵長院院確

日新日報
中華民國二十八年四月十六日

[illegible]

(二二 治明) 通全港鐵道御東 (〇一 長慶) るなと軍將大夷征忠秀川徳

III

癸亥年二月 日 五 十 月 四 日 戊戌年

[illegible]

(三四同) 驢蹄下以長繩間久為畏沈黃水游 (八二治男) 石成紅條和靖清目

110

信	貸	借	買		借	買
				借 買		

信	貸	借	買		借	買
				借 買		

正午 借 買 借 買 借 買

金 癸
庚 亥

四 月 二 十 日

癸亥年三月三日
五

[illegible]

(八治明)止禁立濕のも社佛神 西安慶)寺光院 川徳 (七安弘)寺興宗時條北

115

癸亥年閏二月
四日

日 九 十 月 四

成 任

[illegible]

(○一正大) 典義年十五始創業事僧徒 (九平天) ふ賜を藥湯へ者病の癒接

114

服日
丑 乙

四 月 二 十 二 日

癸亥年八月三日

[illegible]

(三治助) 才氣をところす貴殿に私を本願 (九戦貞) むしら計を膝下の價米 117

癸亥年閏三月
六日

四 月 二 十 一 日

兩 雙

[illegible]

116 (元治明 建創社神川湊 (八九八一) 始開爭戰西米

四 月 二 十 四 日

卷一	目錄	卷二	卷三	卷四	卷五	卷六	卷七	卷八	卷九	卷十	卷十一	卷十二	卷十三	卷十四	卷十五	卷十六	卷十七	卷十八	卷十九	卷二十	卷二十一	卷二十二	卷二十三	卷二十四	卷二十五	卷二十六	卷二十七	卷二十八	卷二十九	卷三十	卷三十一	卷三十二	卷三十三	卷三十四	卷三十五	卷三十六	卷三十七	卷三十八	卷三十九	卷四十	卷四十一	卷四十二	卷四十三	卷四十四	卷四十五	卷四十六	卷四十七	卷四十八	卷四十九	卷五十	卷五十一	卷五十二	卷五十三	卷五十四	卷五十五	卷五十六	卷五十七	卷五十八	卷五十九	卷六十	卷六十一	卷六十二	卷六十三	卷六十四	卷六十五	卷六十六	卷六十七	卷六十八	卷六十九	卷七十	卷七十一	卷七十二	卷七十三	卷七十四	卷七十五	卷七十六	卷七十七	卷七十八	卷七十九	卷八十	卷八十一	卷八十二	卷八十三	卷八十四	卷八十五	卷八十六	卷八十七	卷八十八	卷八十九	卷九十	卷九十一	卷九十二	卷九十三	卷九十四	卷九十五	卷九十六	卷九十七	卷九十八	卷九十九	卷一百
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-----

(三治判) 集勢債公付利分九てめ給て於に華倫國英

119

四月二十三日

[illegible]

118 (五政安)るなと老大御直伊井 (二文寛)事禁を死御 (一帝武天)むしせ樹結を女男

曜水
辰戌

四 月 二 十 五 日

癸亥年四月三日

漢

理學

四九〇六

120

(七正大) 表發令嫁婚(島) (五治明) す許を髪蓋娶娶の侶侶

癸亥年三月
十一日

四 月 二 十 六 日

陽木
巳巳

錄

禮記

五十六

121

(二二同) 布公法前 (五一治明) むした頭を醫てしを農司官紳

木 章

四 月 二 十 八 日

癸亥年三月三十日

[illegible]

(六一同) 類問行銀本日 (元治明) く霞を府都京

123

月三日亥癸
日二

四 月 二 十 七 日

金 庚
午 庚

[illegible]

(九二治明)布公法民 (〇一正尺)政水東松高 (三弘元)廟歸氏尊利足

122

木 子 夜八十八 日 三 月 三 日 月三回交
 日 八 十

録	長	格	領	事	記
（元武健）ろちせ齒に留土王親良護					録 長 格 領 事 記

127

水 乙 月三回交 日 七 十 日 二 月 三 日 月三回交

録	長	格	領	事	記
（西九四一）見値壹イメヤジ度印西（六圓和）むしら作を記土屋てし留					録 長 格 領 事 記

128

四 三 二 一

癸亥年四月三日
二十

日	十	二
源理	辰	記
朝入洛		
和国平信氏青白無印 新主三村		

和田平信氏有收無所
刻
主在二世

(一三八一)ナ覺世一ンオレボナ (四化文)ニ侵海北雙二鑑露 (五一平天)るなと臣大左兄諸儒 131

不願

日 四 月 五

癸亥年閏三月
十九日

姓	名	職	職
		主	少七竹竿壽美 公遊京都和也
午後一時 向幸修竹室役会 一七八七ト会社、用不件、			

午後一時、向事所付室役會
一七九上全社、庫外件、

(○二治明) 布公令位較 (二承應) むしめ定を價の契印

暖水

日 九 月 五

癸亥年四月
二十四日

[illegible]

(八正大) 祭年十五都内京東 (二一保天) 才習練を隊統式洋帆然良嘉

35

月三國亥癸
日三十二

閏八月

弦下  
分八十時三刻 

[illegible]

134 (一三同) 納曾金銀國清 (五治明) 立創の校學小 (元和元) 城藩阪大

134

中 中

五 月 十 一 日

月三閏亥癸
日六十二

二十六

[illegible]

(四二同) 鑑遺御津大子太露 (老治明) 成鏡道愷間神阪

137

月三閏亥癸
日五十二

五十二

四 月 十 日

木 癸
未 癸

宋 史

夕神元氣壽
美全通

美全齋

信	提	信	預	編版
				原書
				記
				備考

(同)結終爭戰得善 (四治明)告布令幣貨新 (九觀貞)予禁を飢時の民夷外國

136

土

晴

1992

大東、合系会社ノ宝筏ヲ事業内ニ奉リ合スル
ノ爲メ

人金

五月二十日 癸亥四月十七日

五

138

(三久文) す摩磗を鑑米鑑長 (鑑長弘) 流配に豆伊人上連日

癸亥年閏三月
二十八日

附 錄

錄
記

文竹根在黃州印案內

卷之四

139

四治明) 主議を界隈太極と國露臣種島副 (二一政久) 主亮公翁樂河白

癸亥年四月三日

179064

(九正大 置設院勞國 (元治明) 小坂に野上隊義彰

14.

日 四 十 月 五

月 丁
亥

[illegible]

140

(二〇九一) る降に國英ルーバスラト (一治明) す興通利保久大

姓名	職名	備考
牛久保六郎	田中家	成願正著
結		
者一姓	御方主役令	

[illegible]

四	三	二	一
高指	取 氏		
取事	取 氏		

[illegible]

[illegible][illegible]

月四日 亥 癸
日 四 十

[illegible]

(五治明) く頭を校穰範焉む及校藝小に國全

155

月 日

[illegible]

154

(一二治明) も改と局位語を局旗番 (五和元) す卒且用制片

月四日亥時
日六十六

駐會の会

157

月 曜○ 曜 水
分七時二後 9P 突

卷一百一十五

(三三治明) る起變事清北 (一三四一) るらせ刑火クーバンヤジ陸女

日 三 月 六 日 月 四 日 亥 癸
 日 九 十

信	長	信	預	録 帳 簿
				録 帳 簿

(九正大) 付占港尾筆終 (八二た明) 式で松島寄露

日 二 月 六 日 月 四 日 亥 癸
 日 八 十

信	長	信	預	録 帳 簿
				録 帳 簿

(九正大) 寄延岡長東皇天書明 (〇一正大) 製の寄能本

火 已

四 五 月 六

月四日亥癸
日一十二

目一

[illegible]

(一一治明) るらめ定を祭靈皇の季二秋春 (元祿元) む詔を狀起願經義源

163

交致同四
三十一

四 月 六

月 戊
中

[illegible]

(一二同) く説を修文天に京東 (二一治明) む改と社利國靖を社魂招

162

圖 木
次 樂

種 芸

3

十

三

六

癸亥四月

日三十三

[illegible]

(一三同) 陸親へ會議てめ始島天治明 (七一治明) 布公例條標商

165

癸亥四月

四十二

22

$$\frac{1}{2}$$

三

六

號下
分九十時六

水 曜

[illegible]

(九同) 手著政論港尼 (五正大) 去卒凱世袁 (三應變) 港開庫兵

164

[illegible][illegible]

[illegible]

(元政安) む定と號記の舶船權拜本て以を該章目

169

[illegible]

168

(三一) 天 止禁賣穀を販出の本情人 (二) 賢延 支禁を造程の寺佛に願京

[illegible][illegible]

[illegible]

(○一正大) 水洪大下縣岡福 (三治仁) 才國時察錄北

17.3

[illegible]

173

(四編) 法の設けに關係する教ふ

五 五

日 七 十 月 六

癸亥年五月五日

[illegible]

(三治明) す許を行通の庶衆門五感官 (二延永) す殺自てに獄補保垂祐賦強

175

月五回安發

日六十月六

[illegible]

(○一正大) 始開涉交米日題問島ブツヤ (五二治明) 始開の便郵包小

174

月五朔亥癸
日 六




177

壬戌

Handwritten labels at the bottom of the page:

Handwritten label: *Handwritten*

Handwritten label: *Handwritten*

(○三治明) 眞設崇大國帝都京 (五一八一) 戰大の一ロト一オウ

癸亥年四月五日

FD-306 (Rev. 11-27-60)

179

癸亥年四月五日

水 子

生修六四

(八治明) 開創職官方地 (二九七一) 命革大國佛

月五朔亥癸
日 十

[illegible]

(九正大) 立建に島大碑念記の朝爲 (七二治明) 領占津天軍合聯

181

同五回亥時至夏日二十二月六

[illegible]

180

(八二治明) 臺灣總督府開關 (元久二) 畠山重忠をせらる

癸亥年五月
十六日
五月十六日
地久
月
巳巳

[illegible]

(二治明) る作を族士し定改を祿藩事知

183

月五閏亥癸
日四十二月六
辰戌

[illegible]

癸卯年五月廿五日

182

(五藏永　る生正清藤加　(元吉嘉)　す殺を教戦利足軍將祐嵩松赤

水 曜
辛 未

日七十二月六

月五初亥癸
日四

[illegible]

(五一治明) 布公例候行銀本日 (五政寛) 國曆郎九彦山森

185

癸亥年五月
十三日

日六十二月六

火 庚
年 庚

[illegible]

(八長延) す雷落に殿涼清 (三三六) 元紀の國斯波

184

金 癸
西

日九十二月六

癸亥 閏五月初
十六日

[illegible]

(二和章) す便に旅行てし加増を隻船に津要の山東海東

187

月五旧亥癸
日 五 十

日八十二月六

○ 廣 月
後十時四十分

木
中

[illegible]

186 (一〇一同) 聯辭遊閑內國伊 (三正大) るき殺暗儲皇國洪澳 (三二治明) 布發法所判裁政行

186

以下未記入省略

壬午

嬰 小

8

三

+

癸亥閏五月

三、五、日

面方聚散

陸

1

2006-11-01

(七拾明) すと民平を名の家分族士軍 (五政安) く假を行奉國男

197

月五回亥癸

二十四

3

2

司

45

附錄

三

漢

10

222

(七一) 同 武定を制の國五の男子伯侯公に族藩 (二) 治明 置設省內宮

196

癸亥年五月
二十七日

姓	氏	名	預	通
				又
				懷 童 車 輪 轉
				記
				記

(八三同) す傾占を御縣近軍陸上木澤 (二治明) を定と剛一て以を文書十

199

四月

[illegible]

198

(四治明)置設省法司 (四政安)才卒一已保塢 (八應明)建再寺草淺

木 成

日 二 十 月 七

癸亥閏五月
二十九日

[illegible]

卷之六

201

(九正大) 洪杏蓀遺著 (三久建) るなと軍將大夷征朝頼源

水 乙

日一十月七

癸亥年八月十五日

[illegible]

14306410

200

(元治元) るき 殺山象間久佐 (三一正天) るなと 白雲青秀臣賢

臘月 庚寅

日六十月七

月六日 亥時

[illegible]

(六仁弘) むしぜ獣を之年毎え植を茶てし令へ識近

205

月六日 亥 二

日 五 十 月 七

丑 巳

[illegible]

(一一治明) 茅禁を會集社誌 (三録永) 茅殺自次秀白園

504

水曜
壬辰

日 八 十 月 七

月六日亥時
日五

後	前	後	前
午後七時 東京 驛 次元			
帳簿			

(四治明) 置設省郎文 (三一保天) 主殿盛理亭構

207

月六日亥委
日 四

日七十月七

火 90

[illegible]

205 (三一問) す布發を法刑 (元祐明) す關改と京東を戸江

205

鼠日
申 酉

日 二 十 二 月 七

月六日 亥九

[illegible]

(元治元) るらせ刑臣國野平 (二仁建) るなと軍將大夷社家嶺源

211

月六日亥時八分 土 日 一 十 二 月 七 上 三 時 十 分 未 乙

癸亥年四月十六日

弦上
分二十三時十

乙未

[illegible]

(五長箋) 程發討征津會出家 (元仁建) 才寂覺文相

210

大 日 四 十 二 月 七

[illegible]

(八三同) 懐古太禪北 (二治明) む定を落位の官女

213

月六日亥癸
日三十二月七

[illegible]

(元永寛) る生館性國 (一一長臺) る成城戸江

242

癸亥年六月十六日 七月十三日 壬子年

信	資	信	預		部陸
					隊 支 隊

(五四治明) 降廟皇天治明 (二龜文) 才死誤崇人名歌連

219

癸亥年六月十六日 七月二十九日 星期日 癸亥

[illegible]

墓葬 吉別文
陳士英
夫墓例葬心

(二政安) す題密に府藩を船汽蒸國臨 (三政治) 宇路盛重平

213

木 丁

朱 丁

日 二 月 八

癸亥年閏六月廿三日

日 十 二

[illegible]

七治明) く赴に國清通和保久大 (三文元) す於巽鬼島上人併

223

癸亥年六月十六日

目 九 十

日 一 月 八

水曜 酉午

午 酉

[illegible]

222

(三一保天) 市禁を娼私邦史野水: (五鎮神) 市禁をふ養を臨

四

日 四 月 八

癸亥年六月

目 二 三

48

2

48

10

雙十日祭

後記

12

04894

1666-67

月六日亥時

日 一 九 一 一

三 二 一

圖 企

申 戌

12

13

10

3

13

100

(元治元) 公暇に園下と隨軍の諸四節米佛英主長

234

224

(二三治男)す許を居郷地内の人外 (八一正天)す合に池ヶ敷てし滋郡池忍不水大戸江

金 乙
9P

日 十 月 八

癸亥年閏六月
二十八日

[illegible]

(三永福) 火明山蘇門 (六祿元) 火明山蘇門

231

癸亥閏六月
二十七日

日 九 月 八

木 甲
胤 寅

[illegible]

230

(四治明) 布發令刀廣髮散。(九〇一一) 朝踊の師大教導。

月 日 年 日 二十月八 月 七 日 亥 癸
 巳 丁 分 七 十 時 八 後

[illegible]

(八治明) く置に清芝を宮館 (九一保享) す寝業嘆窓

233

癸亥年閏六月
八月初一日

[illegible]

232 (九一治明) 定制制與人証法記登 (二安弘) る斬に多博を書使の元

232

來已

日 四 十 月 八

癸亥年四月七日

[illegible]

(七三同) 戦海の沖山磨 (三三治明) る隘を京北軍合聯

235

月七日亥二

日三十月八

豐年

[illegible]

(一〇一政文) 才 賢 山 茶 管 書 傳

234

國木

日六十月八

癸亥年七月七日

[illegible]

二巻) 試験を擬してめ始 (四元) なる戦記続王麻神

57

月七日 亥 癸
日 四

日 五 十 月 八

水 中

[illegible]

230

一一三 江戶町當年設醫 (天正一八) 越後北湖と稱す

昭和七年八月十八日 七月廿七日

姓	名	性別	年齢	職業	備考	
箱根登山						

(正一) (四十二) 山崎子男女子方紀子世王 (三長) 子鹿吉秀 237

昭和七年八月十七日 七月廿六日

姓	名	性別	年齢	職業	備考	
箱根登山						

(正一) (四十二) 山崎子男女子方紀子世王 (三長) 子鹿吉秀 238

月 乙
丑

日 十 二 月 八

癸亥 閏七月 日

[illegible]

(元正天) ふ亡景義倉朝 (二治仁) 主典家定顯輔

241

癸亥年四月七日
八

日 九 十 月 八

弦上
分七時三位

[illegible]

240 (六治明) す行發を幣派行銀てめ始 (三保天) す刑を情小賦

240

水 露
SP T

日 二 十 二 月 八

癸亥年四月十七日

[illegible]

(八治明) るらせ准批換交島千、太輝 (六政安) す辰彌一慧佐岩雪

243

癸亥四月七日

日一十二月八

火 肉
蜜 酒

[illegible]

木田儀三平来り
今朝二時隣家より
火出ヨリキ合道四時
下山

(元治明) 攻進城松を軍官 (二久文) る所に該生を人英士藩薩

242

金已 日四十二月八 月七國真交 日三十一

[illegible]

【○一正大】立成和藥師單塊米（二三同）〈設を局査調度制室藩（○三治明）中興光宗典陸 245

庚辰 木戌
八月二十三日
癸亥 亥十
二日

[illegible]

244 (九正大)置設局會社 (四承治)戰合山橋石 (四九八元紀樹木)す牟明孔葛清

日六十二月八 月滿○ 月七同亥癸
宋 癸 八分一十五時六分 分九十二時七鐘 日 五 十

[illegible]

(七三治判) 順會大の陽意 (八五八一) 約條の初辰日英 (七一平天) むしら土を要境の郡國 247

月七閏癸亥
日四

日五十二月八

壬午

[illegible]

246 (〇→正大) 立威和勝三郎鑑朱 (八→長慶) 辛卒長辛野淺 (三雲景茂神) 津和野清氣和

唯天

日八十二月八

月七日亥時
日七

七 十 日

[illegible]

(四治明)すと民平を人非多横(八二八一)る生イトスルト(元享貞)るき判に中殿老大田基 240

月七 日 亥 時

日 本 大 學

日七十二月八

月
中

中 手

[illegible]

248 (元祐明) 禮大位卽皇天祐明 (二長天) く置を使察巡に道七内顯

癸亥年四月七日
十月九日

晴
夜
1790
遊事
壽美ハヤ中(ヨシ)ヲ伴ヒ朝早リ箱根シヨリ
十時ヤ社
一時ノ浅事ヲ斯波(奉太郎)衣所造船女共
及山口(京吉)神ノ造船女共ヲ伴ヒ屋敷ヨリ
リ小田原ヨリ湯本迄ハ自(電車)夫ヨリ登山電
氣ニテ五時別在着凉気身ハ白リ一茶仙境
シムルハ如シ而モ大い喜ブ而モテ帶同ムル
ハ造船女整理ヲ为メ盛夏日(十月)若ハ降
降ナリト云フ寒ムシカ也

(五一治明) 三價を顯茂十五萬石の徒然鮮朝「七〇パー」減額にンダセ書三ンオレボナ 254

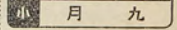
水 中
羅 成

[illegible]

250 (七正大) す定制を刀師元 (八三治明) 立成約條和講露日

某、湖畔、莊長
別、却、了、斯、設
山、口、金、道

252 (一一九一) 戰 - リホリト九伊 (二一治明) 嘉慶 國皇天土今



相	月
○滿	●新
上弦	下弦
月	月
廿五日	十一日
前二時一六分	後九時四七分

北原白秋

行書

行上

草、中耕、施肥。害蟲防除。

大地震

今朝明方近而降リタリ 斯波山口ノ西ノ大
 来ニ六時セシト思ヒテ首ノミリヲ待チ三人其ノ
 向ニ居レリ毒美ハ知テ年ヲ度ヲナシ
 リ
 至五時余山ノ中ツグント御舎地震モ
 フ面モテ壁ハ余頭ニ落チカレリミテ脱
 脚モテテ歩ム不能カラレテ脱シテ底ニテ
 脚ニハ大震モマル如クエ下ノ右ニ動揺
 シキリ余ノ名ヲ呼フモカレバト各ヘテ
 ラノ向ヲ見テ外ニ出ツハ幸ニモ人々
 皆モ幸ニ脱シタリ附近ノ者ハ皆余カ
 災中ニ集セリ其數約三十名ナリ其後
 幸ニ震動未ル
 台知テ官舎内ニ居レ一時是ニキリ級
 テ口腹ヲ

西二社町 通商通關經青京東 (西永亮) 予成落山觀東野上

セリ余等ハタレカ震源地ハ大瀬谷ニモト
 リ斯波山口ノ西ニハ今夜十時國府津
 下ノ陸ニテ山ヲ下ルヨリテ不意ニ
 タルヨリテ急速ニ脱シテ余等ハ
 メス亦後從者ヲ僅メ約三十人後ノ
 ス不意ニ路ヲ不意ニ断テ大破電車
 ル知テテ千ノ電車ヲツメテ二手
 浮世知レリ地上ヲハナレ一
 我橋ヲ反レハ山崩レテ大石車道
 脱シタリ名モハナレハ年代橋落
 此ノ外ニモ其道亦大石ニ塞レテ
 伴スト亦雨等ニテ後戻リテ
 脱シテ別在ニ歸ル余等ハ下
 純下山ニタリヤ若人二人ノ前
 下ノ山ニテ

(二級安) 萬五千名死震地大戸江 (元元保) 予瀬に重大を朝原源

日	時	事	備
三	日	晴天綱女時、幸化ヲ瀬戸道ニシ社	
三	日	島ヲ遊覧、来リタルモノ、酒ニ可地方、下山ニ来 可トナシ、テ久米氏ニ馳橋幸辰次郎氏其他明 朝金方面、下山スリトナリ、夕方、田ノ宿城々 、合令上、方久徴々、別在村、夜合々、ア、怪然 レタリトナリ	
三	日	島ヲ遊覧、来リタルモノ、酒ニ可地方、下山ニ来 可トナシ、テ久米氏ニ馳橋幸辰次郎氏其他明 朝金方面、下山スリトナリ、夕方、田ノ宿城々 、合令上、方久徴々、別在村、夜合々、ア、怪然 レタリトナリ	

日	時	事	備
三	日	島ヲ遊覧、来リタルモノ、酒ニ可地方、下山ニ来 可トナシ、テ久米氏ニ馳橋幸辰次郎氏其他明 朝金方面、下山スリトナリ、夕方、田ノ宿城々 、合令上、方久徴々、別在村、夜合々、ア、怪然 レタリトナリ	
三	日	島ヲ遊覧、来リタルモノ、酒ニ可地方、下山ニ来 可トナシ、テ久米氏ニ馳橋幸辰次郎氏其他明 朝金方面、下山スリトナリ、夕方、田ノ宿城々 、合令上、方久徴々、別在村、夜合々、ア、怪然 レタリトナリ	

午後七時半癸ノ信、我作ニテ芒平、次男ト三番一節
ヲ伴ヒ島村大婦ト共ニ東京ハ今午成立三三三ハ兄弟
ヤ中(外ノ叔父)ヲ御座民直ニ帰來スルナリ(午後二時
半成事ニシテ)旅費トシ金七拾圓ヲ渡ス島村ハ小
供トヤ中ヲ辭別ニ送レリ吾等島村ヲ見送り乗モ
ノ婦リ来リテ其張難ヲ造シ港町ニ余カ行控
器ヲトル車ヲ阻止ス百セント仕て汪老アリ東京ヨリ
ノ遊艇民ハ停車場外ノ盛場ニテントヨ来リテ又各
ヨリ昨夜半余一行停車場ニ停リキキヤヤ五谷
ノ爪ヨ見テ遊艇民トシテ一行ヲ包圍シタリヤ

七日晴 午後社長ヨリ返書ナリ港手ス鎌倉倉
糧食欠乏ハ廿荘ノ為甚平、廿莊ヨリ援助ヲ社長
ニ乞ハル社長之ニテ南幸英店ニ後ニテ駒込セシム

之、今又市女ニリ 相渡リ 垢煙ヲ燃ツ
 萬石庄司ヨリ昨日ヨリ 渡人モバトテ来リ在座セラ
 安田美市女未訪
 頼辰坊主（孤介女長男）母主女素三、弟大伴
 全伴指根ヨリ来リ校舎ス
 辻彼端近茂車南通ニタリト云キ 大月ニテ中
 栗東保ヨリハ王子ニツル 徑路ヲトラントシ 松本
 女ノ庄急ギ全知ノ 坂田女ヲシテ右ノ順路ヲ點
 査セシム
 八月晴 坂田女士一軒ノ急行ニテ来行ス
 八月晴 坂田今昨夜セ殿場ニ着テ一軒ヲ見
 夜分高口今全逆歩 壽天ト共ニ、眠錢ヲ購
 フ停車場ノ芝草ヲ視ル
 以判銀行及高車ノ支店ヨリ 旅費取ルナシ

日	時	刻	事
九日	晴	天	午前松本、坂田氏大目より來信ヲ ミタラス 暫クシテ坂田氏中安條ニテ 歸來今地方 通達ノ外 容易ナク 敬ス 而テ之レヨリト 自前車用立見ノ為 失テトシ 而テ坂田氏ヲ 煩ハス事トシ 今午一時半云々 内様ノ 野中殿又電帳ノ様事 西氏ヨリ余ノ一 ト云件セリトス 西氏共 郵量ニテ廿六廿二十 一野中氏也
十日	午	三時	坂田氏夫人松本氏に大目 ト入浴ノカメ通過セラルトテ 傳奉 其キ 面会ス 社長ハ銚金ハ糧食給送ノ様様視奉 カメ 午後七時トナリ 余ノ一行ハ午 前三時十分發 解因朝七時 通達ノ様事

266 (〇一) 朝辭總閣内アリワバ (元正大) 才死外妻夫將大木乃 朝院開日三野大朝 天市明

日	時	刻	事
九日	晴	天	午前松本、坂田氏大目より來信ヲ ミタラス 暫クシテ坂田氏中安條ニテ 歸來今地方 通達ノ外 容易ナク 敬ス 而テ之レヨリト 自前車用立見ノ為 失テトシ 而テ坂田氏ヲ 煩ハス事トシ 今午一時半云々 内様ノ 野中殿又電帳ノ様事 西氏ヨリ余ノ一 ト云件セリトス 西氏共 郵量ニテ廿六廿二十 一野中氏也
十日	午	三時	坂田氏夫人松本氏に大目 ト入浴ノカメ通過セラルトテ 傳奉 其キ 面会ス 社長ハ銚金ハ糧食給送ノ様様視奉 カメ 午後七時トナリ 余ノ一行ハ午 前三時十分發 解因朝七時 通達ノ様事

(五知明) もし二隔を氏姓に聖留 (五長要) 殿大の旅々 調

日	時	分	秒	備考
1	1	1	1	1
2	2	2	2	2
3	3	3	3	3
4	4	4	4	4
5	5	5	5	5
6	6	6	6	6
7	7	7	7	7
8	8	8	8	8
9	9	9	9	9
10	10	10	10	10
11	11	11	11	11
12	12	12	12	12
13	13	13	13	13
14	14	14	14	14
15	15	15	15	15
16	16	16	16	16
17	17	17	17	17
18	18	18	18	18
19	19	19	19	19
20	20	20	20	20
21	21	21	21	21
22	22	22	22	22
23	23	23	23	23
24	24	24	24	24
25	25	25	25	25
26	26	26	26	26
27	27	27	27	27
28	28	28	28	28
29	29	29	29	29
30	30	30	30	30
31	31	31	31	31

日	時	分	秒	備考
1	1	1	1	1
2	2	2	2	2
3	3	3	3	3
4	4	4	4	4
5	5	5	5	5
6	6	6	6	6
7	7	7	7	7
8	8	8	8	8
9	9	9	9	9
10	10	10	10	10
11	11	11	11	11
12	12	12	12	12
13	13	13	13	13
14	14	14	14	14
15	15	15	15	15
16	16	16	16	16
17	17	17	17	17
18	18	18	18	18
19	19	19	19	19
20	20	20	20	20
21	21	21	21	21
22	22	22	22	22
23	23	23	23	23
24	24	24	24	24
25	25	25	25	25
26	26	26	26	26
27	27	27	27	27
28	28	28	28	28
29	29	29	29	29
30	30	30	30	30
31	31	31	31	31

漢記

日三十八日卜定ム

上午二書後玉部，震采、午、主、見、文、柳。

斗時輝社三時半退也

十五日 田 曜 鏡 子 主 契 十 一 時 子 六 社 三 時

三山堂集卷之六 讀史後會 臨

十六日 曇月 晴 十時 上社 正午 下葉若 候未

晴如暈
十月廿六日
十月廿七日

十八日晴
永隆
廿廿六
四時辰去

正午工書未候未
部
社長上海九十四號

十九日 晴水曜 十時空社 社友、南十字

生部六十四

110641

000

常則一來訪
炎村制夫工場
、報告、來り

十一時羊并合令候

四明圖志
二十日 木曜
十時 江
正未 辰
平 金

奉命修席
四時辰

信 號	信 號

癸亥 九月二十二日 社日

晴
記
不
十時、社十二時、工費、俱未部、
四時、退去、飯米、地、料、太、少、人、
社、共、一、限、定、不、能、發、十、三、万、円、而、銀、行、八、万、圓、送、給、
支、百、五、十、圓、電、傳、信、候、金、五、百、圓、而、事、以、内、所、積、各、
七、万、圓、)

(三同) る成煥斯瓦て於に濱横 (元治明) 城 藩 津 會

27.5

月八回五交 日一十二月九 岸彼

日 一 十
 楊 氏 楊 楊
 晴
 晴
 十時や社
 四時辰也
 毎日書くよりモノヤキうラス 書くよりキモノ余りし
 多ヤカカ煩キ有リ後日ムカフ トナヤハカカ
 メ也

(二九七一) す告布を制和共國傳 (五長慶) るらへ捕成三田石

274

新設産業送迎会
ト面合其モ事
シテ来
朝所田中俊成未訪十一時ヤ社武市利美氏
来訪携ヘテ面合で合ハ臨ム
午後一時針葉会社室役会ハ臨席
三宅川南事合長ノ懇請ニヨリ横濱殉難
者ノ贈與金額ヲカ屬ス
白仁親銀長長銀内ハ幾トテハ合
成ハ面合机卓橋ノ事ヲハ作ケ長長ノ面
目ヲ保タシム
三時羊園出高輪大出却後章ノ横濱ヲ
何ヒ五時過裕先後事ト鎌倉ニ於ケル遊
雅ノ席シ色々話ヲ交ス
以日午前十時皇太后陛下日先ヨリ啓啓直
ニ進進者ヲ三升病改ハ向ハル

時々雨
相模奈銀次郎来ハ針カズカイ代トシ金
手取同ノ後入
田中市市会ハ奉子啓ニ公震栄貝舞来
午後拜美江ニ於テ午席女ノ告別式赴リ
夕刻新川美介ノ病床ヲ訪フ

今朝又地震アリ天野京一代天村上場支配人
トレ相違イタル件ハ未訪
上野羊ヤ社川北電氣公署ノ件ヲ川井電氣常
務ノ諸ル女モ不審アリ商事常務ノ乳ス矢今
代本日詳テハナリ
十二時ヨリ千葉便五部ニ宮地松木ノ而後
典院副院長ト会合ス便五部側和田大橋
御団桐島松城門野依冬木等約十五人
松城子爵ヲ陪席セリ
大井大匠去三日然内引越ト事ハ核抄
ナリ
振込次郎(南松松城)外務次官松平次郎介
ト事ハ松平次郎次郎次郎次郎次郎次郎次郎
未訪アリ、芳村男見示、か夜、木村ヨリ報告
ナリ

四時羊退去

本日正午横濱出帆ノ天洋丸ヲ新川母人
船也ヒレハ今朝七時五十分發來、壽美
正夜ト共、停車場ハ見送ル
十時羊ヤ社
京都三軒式ヨリ社共川橋ヤ痛ナリ燕歩
ヲ許サレタル命來電アリ
午後一時東京洋城布一件ハ友基平氏ヲ
川見ス三番ニ成ヨリ分寄主合仕込來ノ短
途准、ナリ、是ハ見タ標(取ス
昨日ヨリ合仕込合仕込用カレタリ
棒山麦種代東京便五部修後貴士門
ノ二番及三井ノ三万内買牌方依頼アリ詮議
上矢方室理主ノ十八日正午手スリントハ
翌ヨリ三井ノ五番手ヲサカシム

四時退去

午前		午後	
十時 羊や社 社長より一電あり 五十分 発着 午後一時 南葉会 午後二時 南葉会 午後三時 羊や社 午後四時 羊や社 午後五時 羊や社 午後六時 羊や社 午後七時 羊や社 午後八時 羊や社 午後九時 羊や社 午後十時 羊や社 午後十一時 羊や社 午後十二時 羊や社		十時 秋高役士三時 社長より一電あり 五十分 発着 午後一時 南葉会 午後二時 南葉会 午後三時 羊や社 午後四時 羊や社 午後五時 羊や社 午後六時 羊や社 午後七時 羊や社 午後八時 羊や社 午後九時 羊や社 午後十時 羊や社 午後十一時 羊や社 午後十二時 羊や社	

午前		午後	
十時 羊や社 社長より一電あり 五十分 発着 午後一時 南葉会 午後二時 南葉会 午後三時 羊や社 午後四時 羊や社 午後五時 羊や社 午後六時 羊や社 午後七時 羊や社 午後八時 羊や社 午後九時 羊や社 午後十時 羊や社 午後十一時 羊や社 午後十二時 羊や社		十時 秋高役士三時 社長より一電あり 五十分 発着 午後一時 南葉会 午後二時 南葉会 午後三時 羊や社 午後四時 羊や社 午後五時 羊や社 午後六時 羊や社 午後七時 羊や社 午後八時 羊や社 午後九時 羊や社 午後十時 羊や社 午後十一時 羊や社 午後十二時 羊や社	

日記

記

十時半小社 十一時理事会列席
 午後三時より東洋紙中、宣役所蔵
 牛乳其他、千五万円 傷入（以下）中より、東
 洋紙
 五時半退去

日記

記

十時半小社
 伯府林政三介氏来訪 東洋紙中、件
 午後三時より、核校生、宣役所蔵
 牛乳其他、千五万円 傷入（以下）中より、東
 洋紙
 五時半退去

讀

三

相率聊（一）未（二）公時（三）擇（四）山内（五）唐市（六）江夜
 長（七）資（八）葉（九）ヨリ（一〇）彼（一一）照（一二）院（一三）評（一四）成（一五）下（一六）レ（一七）結（一八）理
 大臣ヨリ（一九）奏（二〇）請（二一）レ（二二）タ（二三）ル（二四）ヲ（二五）以（二六）テ（二七）差（二八）文（二九）ノ（三〇）有（三一）無（三二）
 同合セアリ（三三）差（三四）文（三五）ヲ（三六）ヨリ（三七）至（三八）二年（三九）ス
 上時（四〇）中（四一）分（四二）壽（四三）美（四四）金（四五）道（四六）吉（四七）祥（四八）幸（四九）ノ（五〇）熟（五一）多（五二）野（五三）内
 掃（五四）除（五五）行（五六）庭（五七）ヤ（五八）庭（五九）リ（六〇）松（六一）栢（六二）ト（六三）其（六四）生（六五）ノ（六六）青（六七）ケ（六八）ト（六九）シ（七〇）
 日（七一）燐（七二）跡（七三）コ（七四）ウ（七五）往（七六）来（七七）シ（七八）タ（七九）ル（八〇）頭（八一）腦（八二）ヲ（八三）洗（八四）
 正（八五）成（八六）目（八七）動（八八）年（八九）ノ（九〇）テ（九一）往（九二）復（九三）ス（九四）速（九五）力（九六）自（九七）動（九八）年（九九）
 ト（一〇〇）差（一〇一）シ（一〇二）タ（一〇三）ル（一〇四）相（一〇五）違（一〇六）ナ（一〇七）シ（一〇八）ル（一〇九）也（一一〇）六（一一一）時（一一二）婦（一一三）老（一一四）
 友（一一五）友（一一六）子（一一七）女（一一八）未（一二〇）訪（一二一）常（一二二）中（一二三）我（一二四）ト（一二五）復（一二六）照（一二七）院（一二八）未（一二九）無（一三〇）
 雅（一三一）照（一三二）ヲ（一三三）清（一三四）ケ（一三五）リ（一三六）可（一三七）カ（一三八）同（一三九）合（一四〇）セ（一四一）リ（一四二）差（一四三）文（一四四）ヲ（一四五）ヨリ（一四六）
 公（一四七）所（一四八）制（一四九）ナ（一五〇）ル（一五一）也（一五二）三（一五三）集（一五四）二（一五五）年（一五六）唐（一五七）行（一五八）精（一五九）（一六〇）
 夜（一六一）令（一六二）山（一六三）本（一六四）年（一六五）太（一六六）常（一六七）代（一六八）未（一六九）訪（一七〇）

298 (○…正大) 貞觀年十五葉市道鑑 (二永壽) むした討を氏牛に仲頼皇法河白御

298

51064HD

注

三

午後一時倫敦銀行、山室大及銀行
支店長より具す

[illegible]

十時半（社）
午後一時（倫）敷（イ）端（綱）山室大及銀行
支店長ヲ引見ス
櫻井君役婦ト社長ノ近ヲ詳トス
四時（辰）出

(○一正六)米波行→權全議齋府庫(九二治明)す腹を飭護の臣大(五政安)す授に海と照月洲南 299

晴

晴

十時半出社

十月十六日

晴

昨日午後、余は海羅別荘へお人永
田至り、今朝、山荘に在り、上座、石
藪、さへ、及、金、石、七、五、十、外、に、来、り、上、座、
お、金、十、圓、を、金、人、へ、交、す
午後一時、商業会議所へ、赴き、藤山会頭ヨ
リ、大、保、内、親、と、首、相、素、直、務、及、大、井、兩
大、臣、訪、問、カ、ル、秘、室、に、執、書、ヲ、藤、取、ス
主、前、に、口、定、余、氏、未、訪、明、治、製、糖、重、役
就、仕、三、長、重、任、ナ、リ、与、テ、付、テ、ス
四、時、退、去
一日ヨリ、山、小、田、至、在、り、帰、有、と、ル、ヤ、申、ミ、シ
帰、宅

300 (七三拾明) 穀 六 の 河 沙 (五一平天) わしせ富海を修金量の銅金

晴

晴

明日方近う、又地震あり

今日、神井余店許、モ、休、業、未、近、頃、稀、ニ、
秋、晴、ノ、好、天、ニ、モ、余、氏、モ、伏、暮、リ、之、友
止、夜、ノ、至、夜、ヲ、ツ、レ、テ、一、時、十、分、迄、祥、寺、に、赴
キ、榎、木、植、芳、ノ、掃、園、ナ、リ、六、時、半、迄、輝
定、ス

大会日、幸々、仲、睦、カ、メ、来、リ、合、々、ル、九、草
并、石、屋、面、々、キ、因、来、返、談、ヲ、及、シ、吉
祥、寺、番、人、々、予、傳、ニ、モ、合、様、ノ、祝、儀、ヲ、進、ウ

宇、河、一、ハ、カ、キ、一、目、ヲ、モ、ト、リ、わ、け、
う、河、一、一、目、ヲ、モ、ト、リ、わ、け、

(先治有) 予 藝遊を機爲てめ給皇天治明 (五拾久) 山 穂に川櫻を舞載信昌は佐土

1156410

(四政安)す既に軍勢城入江使で (五〇八一) 忍得ルガルアフラト (〇二王監周) る生子孔 305

錄
記

五、

5

四

19

△

二

2

12

子

士。

一

王會の今日

301 (○一岡) 上鐵取難神然木大 (○一正大) 成鐵事工 俊岩夫女捕見二 (二治大) 寺經光義源

晴
風
記

朝中村華御代自合揮毫ノ花鳥枕屏
凡そ双分一画ヲ持来ス公代燭ヲ出サシ
新狀ヲ洋ニ羽歸友ニ氏ヲ介シテ金五百
円ヲ支払フ公代大ニ感謝ス
十時半至ルヤ社
午後一時ヨリ造船会社重役会ノ列席ス
永全造船會社ノ員傷後一昨日ヨリ出勤
明日長崎ナリ出帆ノ候也 貝工
田村(實名)様ノ銀行支那人上京ノ外野人ナリ
候ハ見ユ
四時半至ル迄ナシ

晴
風
記

地方官ノ大
更送アリ

十時半至ル
十二時銀行重役会列席本支店ノ合
震天前比レ預金四千七百円増カノ報告アリ
山室新取締役初メテ列席
午後一時重役会社臨時總會并ニ重役会
列席
膳田文輔 未訪大坂工場又西人雅照依頼
アリ(午後二時迄)全時夫野恒太氏見(即
来訪一寸面会ス
午後二時半至ル者中齊場ノ如クハ彼々木腹思
節々(齊場ノ度下ニテ死)ノ告別式ハ修ム
三時半終ル
田中村ノ山口泉宮代未訪

時	分	秒	日	月	年
十時	半	山	社		
十一時	理	事	会	議	決
料	珍	奈	知	件	中
社	長	三	代	川	公
席	に	テ	セ	ミ	ト
会	社	創	立	取	附
着	午	ノ	キ	ス	
午後	三	時	三	分	震
災	害	後	会	事	務
会	事	務	会	事	務
第	一	回	開	行	ハ
四	時	半	迄		

晴

晴

晴

晴

晴

晴

晴

晴

晴

晴

晴

晴

晴

晴

晴

晴

晴

晴

晴

晴

晴

晴

晴

時	分	秒	日	月	年
十時	半	山	社		
十一時	理	事	会	議	決
料	珍	奈	知	件	中
社	長	三	代	川	公
席	に	テ	セ	ミ	ト
会	社	創	立	取	附
着	午	ノ	キ	ス	
午後	三	時	三	分	震
災	害	後	会	事	務
会	事	務	会	事	務
第	一	回	開	行	ハ
四	時	半	迄		

晴
風
雨

晴
風
雨

午前十一時 毒笑ト共、吉祥寺、其ヤ植木ノ
植替ヲ為ス

長門入口ノ溝石蓋設置費五拾七圓、其勝
保春ニ賜松并、平月中植木職人三十八人分
六拾八圓、其ノ外松ノ分二日合計百七拾七圓
三十人ノ番人、及シ全時平月介給料ノ支松
七時 掃宅今朝吉祥寺、其ヤ又正、及シ全
夜分差料中村、其ヤ掃金洞裂

晴
風
雨

晴
風
雨

晴
風
雨

良一京都三日夜
十時来

朝九時 羊ノ茂車ト、新川美介等後病
後ノ静養ノ為別府ニ歸省スル、其毒笑
正、及シ其ノ停車場ニ、其後ハ全人ハ春洋丸
コト神元返、及シ、其ヤ
答件トシテ午後二時 袁良ヲ帝國ホテル訪
フ不在名刺ヲ残シテ歸ル

箱根ヨリ来ル陰雅別荘農夫被害
件係員大上、舊令、石工全人、植木匠全人
夫、其九月九日ヨリ十月廿七日迄、分九百計松
六圓七拾四圓、内及松清三百五拾圓、其残金
九百七拾六圓七拾四圓ト外、壁下木ナリ、其ヤ
七十枚、其ヤ百八拾圓、中ス、其ヤ百十代、其ヤ其
支松苑、明日子園ヲ全人、其ヤトス

信	實	信	實
朝現金千圓ヲ市田英策ニ送ス 良一昨夜京都ヨリ来上ニタルハ東北大馬ナリ 助教授トシテ學ビタルハ甚 諾否ノ相談ニ未タ ハリ自分ハ本人ノハバヤト答フ本人ニ應答ノ意 ヲ表ス今朝待々ニテ京都ノ拜候ス 十時ヤ社社長ト対談ス 三時社宅ニ五時四十五分至社人ハ分テ馬ハ 飯橋北城ノトニテ崩壞ノ場知頗ル大陰ナ リト幸ナリシモ大程ニ思ハス通達ナリ衣 介更合更ナリヌ大爪未ラサシテ祈セリ			

信	實	信	實
九時社宅ニ至常盤ノハ雨降リヤテ又外ハ ヲ具合セ又府欠ヲ引具ニテ考セリ			

晴

三

漢

大陳、奔、

午前十一時三十分、大改銀行支店、封キテ
部会、面会シ去テ、高丰会社ノ支店、永峯
支店、高田ニ、愛其上ノ成績ヲ示シ、豫備ノ借
り鋪ヲ一覽、銀行支店、歸リテ、部会ト共ニ
改神急行、テ、改神六時迄シ、支店、入ル

時

理學

後

木下町

田村市内

廣安後合副う遣ハシ、無内ヨリ名族抄ノ
 メテ後一時田村御ウ宿ヒ信子若夫人、面会シッ
 シヨリ又店ニ赴キ早川櫻沢、面会ス
 夜分川井常ハ女京都ヨリ来ルトリツブナス
 ホールトノ談判ハ、年最後ノ儀歩上ハ合
 ス又アリ

月 午

四 一 十

癸亥年八月九日
二十七日

七十二日

晴

位高者

午而住志野處、久牽テ清テ夫人ハ變
 磨テ割替テ今朝好地ニタリト、主ニ年宥
 子ト大輔ノ姉美ヲ見シテ歸ル往度又
 神々を行シ、此に住志山午ノ祭辰ノ暮ニ至リ
 歟焉リ

(○一正大) 呈捧弘酷臣大各關内 (六曆延) す任に耳將大夷征を騰村田上級

324

癸亥年九月
二十六日

三十六

目 四 月 一 十

陽月
己辛

晴風

長田、新
長田、新

午後雨夜長田(卦)良(夫婦)不在典夫
別荘境界(石)陰(う)さし六時(婦)宿
夜分良(来ル)

340

(○一正大) 命任に相首任兼時隨相外田内、(六位二正夜郎) るらせ殺暗相首原

・(六位二正復郎
みさねに位

癸亥年九月九日
二十九日

種	品	種	段	番附
				種表
				序
				文所買柳
				武田代卜言和表
				破合人
				270

(三正六) す 飲 占 を 鳥 書 軍 伐 (六地産) く 誰 を 土 博 女 て め 治 323

〔臘火〕
柴 焚

[illegible]

322 (八二治明) 印國約條附選東逸 (王永嘉) 李毅琴馬亭曲

戊子

日一十月一十

癸亥四月廿一日

[illegible]

(○一正大) 萬聖者葬魚・欲葬市首原 (元嘉天) 才器を事んぜ誠を價物

327

月十日亥時
日二

日 十 月 一 十

卷七

[illegible]

326 (六治明) 4 置設を省務内 (三承永) 予款を縣宋府寧本

326

癸亥年十月十日
五

[illegible]

(○-正大) (全圖國地
作爲海) 式任親相首橋高(一五八-)通開信電底海の関佛英(元保建)す亡滅黨餘の盛義田和 329

月

[illegible]

338 (○--正大) 建議提案限制大坂海關米會所議會府庫 (五治明) 才定制在服國大

十月十一日

江戸時、社十二時、下町用ミリ岩峯俊佐、后今
 朝ヨリ病勢急変、辰馬ノ預スル旨、執知、接
 シタル者ヲ任ヘラシ、依テ青木氏ノ急病、全即
 赴ケ、手ヲ依賴シ、室祭ノ赴テ京都社長、
 許シ、急遽ス。
 午後三時、首相官邸、於テ復興院ノ初評談
 会ニ出席ス。山本首相、挨拶、後、後茂徳
 蔵ノ挨拶アリ。坂吉芳太郎男会長トシテ談事
 ヲ整理ス。談事ノ質、廣ヨリ、李久野花伴別
 毒々然、決定ヲ終リ、三時頃散会。
 直ニ席敷、後佐長ノ如シ、病勢漸リ輕多シ。
 三浦謹之助、田中士未珍ノ見立ハ、自律神位ノ衰
 弱ニ、容易トヤヒナリカラセト、丁ニ、男中
 ハ三浦氏ヲ公伴ニ加藤千代ト見ヘラセタリ。

十時半時

(一〇一) 張を意旨に案制制罪刑權全勝加 (九正大) (正國第一十四卷) 會開盟聯勢國回一第 331

日四十月一十

[illegible]

330 (○一正大)るなと戴鴻會友政相首鶴高(七永寛)る生軒益源貝(二續品)罷を願地遷守の和太時泰隆北

禮家

田園ニシテ大利ヨリ四五ニ乘リ名地知美實元有
御印ノ上行送シ親夜合欠同て方ミ捧ルヨ来
メ之レヲ直接大利ニ返送セシム今付大利ニ償戻
金欠(印ト)石次方サテ通知ス
并裁揮御印成々金夫又依知古来訪(大付是)
雨天作別ニ候セリ

王德信

晴

理系

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----

漢

禮	禮
---	---

十一時出物 社長出社 田中中一 載各子又
以朝三橋代三代末也 金庫急案中一丰
仲介知見了陳述又
四時返去

陳

三

〔天〕
西丁

日十二月一十

月十四亥癸

晴

晴

泰田侯より来宅
午後帰反

〇ノ帝國志士ハ初メ金十千圓ノ貸付金ニシテ

上時中社 三菱信託銀行 貸付金 貸付金

二時工業倶楽部 理事 貸付金

斗時南幸会社 臨時 貸付金 貸付金

近海船舶 貸付金 貸付金 貸付金

代金 貸付金 貸付金 貸付金

朱利 貸付金 貸付金 貸付金

国 貸付金 貸付金 貸付金

引 貸付金 貸付金 貸付金

二時 貸付金 貸付金 貸付金

北川 貸付金 貸付金 貸付金

為 貸付金 貸付金 貸付金

廣 貸付金 貸付金 貸付金

廣 貸付金 貸付金 貸付金

廣 貸付金 貸付金 貸付金

廣 貸付金 貸付金 貸付金

廣 貸付金 貸付金 貸付金

廣 貸付金 貸付金 貸付金

廣 貸付金 貸付金 貸付金

廣 貸付金 貸付金 貸付金

廣 貸付金 貸付金 貸付金

廣 貸付金 貸付金 貸付金

廣 貸付金 貸付金 貸付金

廣 貸付金 貸付金 貸付金

廣 貸付金 貸付金 貸付金

廣 貸付金 貸付金 貸付金

廣 貸付金 貸付金 貸付金

廣 貸付金 貸付金 貸付金

廣 貸付金 貸付金 貸付金

〔天〕
西丁

日十二月一十

月十四亥癸

晴

晴

晴

晴

立則十時ヨリ首相官邸へ催されん評議矣
会し候ム五時ヨリ漸リ茶会ヲ決メス
六時頃帰宅 青葉 赤坂ヲフレテ握手
身ヲ清キ静ニ

（一正大）式外分中京協会の初基建設（三一明文）十化習訓而休一（二慶夫）ノ類に能下門將平 337

晴

339

（四安慶）投書 菊池 橋 九（三秋山）ノ類に有島左衛門氏清平

晴

晴

晴

十二時中社
 社長今期で時京師向ヶ小登
 候高石春代丸内地知ノ事ハ未訪未登
 女ハ保介ノ名利ヲ及ス
 棒山委輔ヤフーラー建基組合ノ件ハ未
 齊及迄ハミリ棒太口ハノ貴取件ハ未
 田倉中代親依夫兼ノ件ハ未訪
 田田造ハ合長ハ見
 松岡均平ハハ見
 四時五十分退去

晴

晴

十二時頃ヨリ壽天全伴吉祥寺ニ参リテ
 後七時帰宅
 百字中 飯田藩四市々高橋陳込ノ由今未
 訪
 今朝十一時復煥震アリ 本月五日ノモトヲ
 シト伯仲ノ由ニリ云フ 模校ハハ倒ト家ナリ

癸亥年四月十日
十七日

[illegible]

(○一正大) 表發願病御上聖に時同・任就御に政權官東 (三保長) 宇禁を暇美の女官卿公 341

陸 氏

[illegible]

310 (〇一正大) 布公制官臺文天京東 (四保建) むしせ選建を船大に嚮和東人宋朝寶

晴

暇

十一時四十分止
銀行重役会公席

午後一時、針砭會社皇役會臨席

金斗時平荒町男了月子田原櫻太一藤守

昇給、件田奉自身、
被及不、以了用、意

見于相。男。高。考。子。為。不。

乘八三十日皇后陛下乘澄園內赤十字社臨時

病後之行厚（可愈行），內報了之（可愈）。

平山張葦ノ主見ヲ方外ニ

如時二分區去和曲曲是化病氣見舞

至麥川序以丁卯四鎮怡民宅一震災者

時貝舞入正
礼、主事八

大和國馬、
用此等金、
上西文、

E667-01

3/2 (一正人) 儀典祭告奉任就綱政場 (元盛久) るは寵を官てし座に罪の朝爲義爲源

離火

晴

三

十(野二十令虫) 社

カキ石炭ミリウエルゲンゲ、係、長崎造船所如

進歩の報告ヲダシ

午後一時、要校会、社重役会、校席

三時五十分 退出五時奉吳公道 柳賴壽

子卜島村鉄也卜 佐野政秀、夏、帝國

あふり
保人水野
子孫
不郷

大に來賓ヲ代表シテ
祝詞ヲ述ブハ時辰
敬

歸

(○一同) もしせ覧觀開公て於に供世佐を興陸鑑戰 (九正大) 行施制市に漢榮 3/3

時	分	秒	日	月	年
11	58	00	11	11	11
十一時半出社 郵船香港支店久松吉市君入港ノ全社船 入港ノ入荷役ノ千原商事全社ノ取扱方 公社ヨリ依頼アリタルハ岸事務所ヨリ報告 アリ矢ッも事支店長ノ意見ヲ以テカンシム 四時帰宅					

時	分	秒	日	月	年
11	58	00	11	11	11
十一時半出社 郵船香港支店久松吉市君入港ノ全社船 入港ノ入荷役ノ千原商事全社ノ取扱方 公社ヨリ依頼アリタルハ岸事務所ヨリ報告 アリ矢ッも事支店長ノ意見ヲ以テカンシム 四時帰宅					

癸亥年閏五月十五日

晴

國事

于後斗野池田遺三
青山香境
公時川村饒如安
春月山寺自林不院
告別云

十一時三十分迄社在茂小対談
午後三時三十分迄池田益三氏ノ告別式、青
山斎場、制錢取佛役行有鏡大母堂告
別式、青山梅菜院、丑午三時神元
葬、墓三ツ西降ル
丑辰辰吉、井六介付理費斗子八百余圓
又、又

(五治明) すとい一月一の年六て以を日此め改に順陽太を嘉隆太

350

王命今曰

1564

晴

三	三
---	---

十一時分社

此擧本未年分諒義ノ件ハ有爲止成リ見ス
午後社長ト智錢金仕取扱員ノ件ヲ議定ス
前年金仕ハ前部事多ク代及銅板代貳百六
拾五圓金仕賃金仕ハ又月金主君金八拾五圓
金ヲ支払フ
松田貞治印式ヨリ智錢金仕ハ係ル報知ナ
ス

火 臘

日 四 月 二 十

癸亥四月十日
二六六

48

15

12

72

(○一正大) 我輩を除く中国兵官軍に對河納納馬 (三治明) も定を法便歸てめ始 354


 月新●日八月二十雪大 月一十回交交
 9P 乙 分十三時十前 日 日

晴
家
一、時羊々、社会倉庫会、社会役会、列席
常会、社会三、解船買支ノ件ヲ議ス
製鉄会、社会今期決算書類ヲ所讀シ之ヲ
覽テ男會ノ計ニ及ル
社長川尻キヲ勸
四時迄出席セ
国東濱田諸公、九、元神八降、空鳥居、建、集費
内ハ、由、國、六、件、可、致、局、申、送、ル

(○一同) 震激方雄京東 (九正大) 定設路行飛大都支 (元治明) 告に應大勢伊を定平北東 355

日七月二十

十一時中社理事會 社長病氣欠第
 午後一時中社理事會 社室役會本期
 決着（案）并に在任中改正次員金三
 十兩四斗半五百兩圓に減額ノ件ヲ決ス
 者及正会ヨリサカシム人等相合明日合
 午 青木堤会ヨリ年未賞與ノ件ヲ決
 可頼義治会令良春^{大内}助会代理トシ年未
 功三及九兩六匁五厘ト召庄取引ノ依頼アリ
 頼下会し紹介ス
 此時羊退去

354 (同) 可計加參に議會府議員委多手 (○一正大) 式品陸狀任信使大佛新

單日
辰 酉

日 九 月 二 十

癸亥年十一月一

録

禮	禮
---	---

大奈里貝、太孫里
琴、并藤、似賴、件
以事不

午後卦時羊松岡均平武藏父床殺男百
日奈(原矢きり葉山、二丁五)ヲ草族会殺
松平宮マルヤ之レシ床ヲ伴ス

356 (○一正大) (時より日二十水満市全日一十
舊復理時日五十水船限制間) 遊破道水市京東め爲の震歌 (元治平) 亂の治平

1042901

INDEX

刑

暖氣

吳十奇堂令評
淡谷會午後出時
日本俱玉部
新

今朝ヨリ腹痛下痢ヲ扱ノ上十二時壽ヲ
全望ニシヤ勅壽美ハ後佐右貝御拜ノ榮ナ
買取メノ為メ也
良堂陳列ノ北斎庚午爪景畫斗紋ヲ
ナク圖ニテ求ム
社長ヤ勅
四時返出
臨時予國議會（开会）

月 丁巳

日 十 月 二 十

癸亥年十一月十一日

13

卷一

5

[illegible]

1

Figure 1. The effect of the concentration of the solution on the adsorption of the dye.

10

10

10

•

100

100

10

100

(三座慶) る下餘朝の古復政王 (三響大) す其開を道山の蘇枝 357

格	段	格	段
格	段	格	段
今朝永田三某 (省振込人) 来ル 竹腰屋に於て五百 圓を込ス			
十二時半、社 島村金次郎氏より北辰会々期決着ノ様 様ヲダシ 三軒重荷(タリ)神神宗ノ報告并ノ商船 会社内海使船船音ノ九型斗隻又注文ノ數 告ヲダシ 四時半退社 神戶税務署ヨリ地價設定徴税表十月 十三日付ノ分力ノ通リノ外し収入印紙貼付(知付) 午後九時明日ナストス 片山氏(目六)地價二四三、五四、登録税額 三、四四、五、地價主ノ分力又ハ其大七地、変更金取 引ノ事、 夜分商鳴ナリ			

360 (〇一正大) 印典立成約第圖四 (七二治明) 予領占を城海軍一節我 (三島仁) 唐入珍部毎

格	段	格	段
格	段	格	段
神戶税務署 午後五時 十一時、社 午後八時、平々川井屋ハ、而シテ川條ヤ 川見ス 公使館ノタ伴ニ社長訪問代テ面会ス 榊山麦輔氏(フーラー)牛ノ未ニ訪 九時ヨリ工業倶楽部ノ催ハル日置釜 駐米大使(内田)主權、聚土耳古大使招待 ハラフバケ(ナリ)ナリ、而シテ大使ノ招テハ八時 半退社 前ノ郵船副社長石井徹氏、板抄ノ来訪			

(同) 式水道圖第圖 (〇一正大) 予意同に有保の望典第圖 (四一線元) 豐後士七十四種泰 361

晴

暖家

大利後馬及典夫二
子て市面子とし格
五ノ

十時六分

午後博文館太陽編序
戊來訪

赤星地所部女、フーラー
鮮蔽、世に於て資産

狀傳子亂不

矢野宗平氏來訪

黑天、福井、入地、權利、証書、及、親族、會、

漢之西字下漢什不

四時毒藥金葉文京家子伴七輝安

衣今曰衣也。其監與折、反事。

信女金軒二成女 履初、具之

五

晴

22

十一時羊山社

午後一時製錢會社總會本朝、東京、

減資（三千四百五十萬圓）及支款

改正ノ件ヲ議ス

治所餘行立期後金四月初十日十三號

行得別名在、松考丁、支村、校甲、莫世七

二如大木

四時辰土

晴

暖家

大利後馬及典夫二
子て市面子とし格
五ノ

十時六分

午後博文館太陽編序
戊來訪

赤星地所部女、フーラー
鮮蔽、世に於て資産

狀傳子亂不

矢野宗平氏來訪

黑天、福井、入地、權利、証書、及、親族、會、

漢之西字下注什大

四時毒藥金葉文京家子伴七輝安

衣今曰衣也。其監與折、反事。

信女金軒二成女 履初、具之

晴	記	時
倉庫堂役会	佐々木時外務 不任在卸主事 武田即事内 末島の上原廣成 佐合 上原十竹	

十一時や社、先々東京海上保安会社臨時
総会、臨時、保衛隊、知持、置、重役、一
佐々木、葉子、是、認、セ、ル
倉庫会社、重役、会、ハ、本、為、メ、大、事、ス
午後一時、三、七、川、氏、朝鮮、總、督、并、政、務、長、過
有、吉、ヨリ、呼、ビ、タ、リ、テ、朝鮮、金、道、恩、透、役、作
仕、ノ、ハ、五、本、見、テ、交、換、ス
樺山、麦、輔、氏、来、訪、而、会、セ、ス
四時、早、良、氏、赤、坂、仲、ノ、リ、三、石、池、金、田、中、氏、并、武
田、氏、上、葉、山、氏、ハ、会、ス、右、方、竹、田、氏、片、岡、直、輝
仙、石、真、氏、林、氏、雄、氏、大、谷、順、氏、六、名、ヨリ、来、タ、
後、始、メ、談、話、セ、リ、新、橋、ノ、所、崎、ヲ、見、ル、意、ヲ、見
舞、ト、シ、テ、ヤ、サ、ル、ハ、金、百、円、ヤ、午、お、九、三、拾、圓、ヲ
爲、ル、十、時、歸、宅、

晴	記	時
倉庫堂役会	佐々木時外務 不任在卸主事 武田即事内 末島の上原廣成 佐合 上原十竹	

十一時や社
白石、多、士、良、氏、并、内、明、太、郎、氏、知、有、盤、城、炭、山
賣、却、ノ、件、ハ、未、訪、折、ル
午後一時、三、葉、海、上、大、矢、保、廣、保、会、臨、席
川、保、キ、午、後、三、時、ヨリ、三、葉、鐵、行、堂、役、会、
列、席
樺山、麦、輔、氏、来、訪、フ、ラ、一、会、社、川、保、キ、午、後、
モ、一、ル、サ、ツ、オ、ー、ト、ノ、内、メ、午、休、(石、岡、保、一、可、リ、支、分
及、二、事、ス
三、葉、氏、ヨリ、九、州、出、張、中、ノ、報、告、ヲ、テ、
四、時、退、去、不、甚、便、不、部、ノ、同、業、

金 辰
日 戊

日 一 十 二 月 二 十

月 一 十 月 亥 癸
日 四 十

晴
風 弱
雲 少

外務大臣 齋藤實
印 午後六時訪

十一時代社理事會出席者
午後四時退社者

午後六時半集會外相、佐持、其
官邸、赴、山東内閣、辭決、關係、者
并、普大公司、理事、長久、正生、座、歡、迎
ヨ、並、子、久、セ、リ、大、養、食、無、相、田、中、座、相
山、内、鐵、相、三、大、臣、大、會、議、院、諸、先、出
席、セ、リ、主、客、三、十、名、主、人、候、少、キ、答
侍、大、倉、留、一、檢、視、ア、リ、十、時、半、終、完

368 (〇一正大) 十五百七千九萬四村町西無芝屋・理力年十八百五千萬三横面五十五市京東
人六百三千四萬五十三百三十三日人觀吸力年九十九百九千三萬一節外理力年

日 二 十 二 月 二 十

月 一 十 月 亥 癸
日 五 十

雨
風 強
雲 多

十時半、代社十一時半、萬輪、終、完
一、赴、り、米、出、男、ハ、夫、人、ト、共、武、田、氏、ヤ、情
量、田、氏、天、婦、ノ、大、使、叙、升、云、云、ト、テ、本、年
早、々、英、京、赴、任、ス、ル、カ、メ、又、別、ノ、午、餐、ヲ
催、シ、夕、八、ナ、リ、相、伴、ト、レ、テ、天、婦、招、待、ス、ル、外、
船、越、三、母、大、婦、濱、田、川、井、ナ、リ、二、時、全
即、チ、解、ハ、大、婦、後、室、在、面、其、様、候、云、云、
会、社、五、十、四、時、半、合、社、退、出、長、天、合、道、席、
完

(〇一正大) 獻計題開臨恭議會府幕(元久文)め始の道津邸使に諸各訓取(五縁元)も成碑川讀の公讀 369

月一十回亥交 至冬 日三十二月二十 月 日 分三十三時四後 午 庚

皆晴

暖房

三

本日の強風、赴りかた等記し、か括りて、しそ
 頭重り、心忪、爽快さなり、為人見合多し
 午後希取う伴にきき久井、竹藤、田政、輔、如地
 (旧坊城子、今井即森、七十年) 9 觀ル

(元政安) す下に府藩を招の造餉餉砲延朝

370

二十四日

十一月四日癸巳
日 一 七 十

晴

暖琴

十一時分社

午後一時高平合社保会 京葉市
 役所三ノミヤリ 春作寒疾ノ事アリ
 午後四時半退出外相良即ハ接抄ノ名利ヲ
 授シ、得金中ノ喜目外ノ陶器店ニテ半テ
 焼留シ、唐太銀ヲ置初(三珍月)廿庭麻牛明山
 使小葉子鉾(斗松月)永未和全鉾煉午ノ
 鉾(四珍月永未六珍月)ノ三個ヲ焼フ
 国本山瀬 直子氏ノ全斗百圓ヲ爲リ四百圓
 ハ本人未斗九月未斗ノ小遣錢幾リ百圓ハ折半
 ニテ申領ス 叔母上ト章緒ハ歳芳

(○一同)く布を合服被褥縣及埃(三正大)↓行を擊墮中空の敷倫てめ給邊國(三治明)予禁を刀帶の人町 37

火 曜

十二月二十五日

癸亥年四月十一日
十八

[illegible]

(元應慶) 神皇天明孝 (五善天) むした討を任貞倍安に頼頼源

373

月一十回亥癸
日九中

圖六十二月二十

水 露
葵 盛

[illegible]

(五長延) も成り喜延 (一一次天) も生康家川徳

373

晴

風

空朗、雲大事件

萬天我千所ヲ改メ

十一時東京海上保除会社重役会出席
火保内敷、座し其後、延退ヲ豫取ス
午後六時、横濱主会会社新井 氏、
羽振抄ヲ舞テ、全社存廢内敷、付来方
午後四時、半端、七、弄美六時、半、五分、汽車
ニ、大田、雲、天、別、在、落、成、具、分、為、下、神、除
部、生、吹、部、應、件、マ

今朝十時、横政、改、改、下、市、院、式、ノ、為、以、院、場
ノ、全、次、長、ノ、入、口、乘、改、件、役、長、カ、可、佛
奈、他、ヒ、タ、ル、モ、ナ、リ、入、口、乘、改、件、役、長、カ、可、佛
ノ、真、フ、改、下、ヒ、全、事、人、直、ト、速、捕、セ、ル、也
人、ハ、山、口、代、議、士、難、改、作、道、大、輔、ト、ス、早、相
田、古、ノ、方、共、他、斗、人、ミ、同、竹、捕、縛、セ、ル

晴

風

晴

風

朝十一時、横政、改、改、下、市、院、式、ノ、為、以、院、場
ノ、全、次、長、ノ、入、口、乘、改、件、役、長、カ、可、佛
奈、他、ヒ、タ、ル、モ、ナ、リ、入、口、乘、改、件、役、長、カ、可、佛
ノ、真、フ、改、下、ヒ、全、事、人、直、ト、速、捕、セ、ル、也
人、ハ、山、口、代、議、士、難、改、作、道、大、輔、ト、ス、早、相
田、古、ノ、方、共、他、斗、人、ミ、同、竹、捕、縛、セ、ル

午二ノ、横、除、敷、七、理、ノ、為、人、五、廿、近、在、社
正、考、今、夕、信、少、ノ、外、リ
夫、村、利、口、除、大、十、及、夫、野、一、名、平、式、ヲ、拒、キ
上、場、整、理、士、ホ、ヲ、決、定、ス、上、考、名、美、ヲ、三、万、四
箱、振、ノ、小、内、系、果、至、ル、貨、品、ノ、一、ト、ス
箱、振、ノ、小、内、系、果、至、ル、貨、品、ノ、一、ト、ス
ヲ、行、来、ス、

時	刻	時	刻
時	刻	時	刻
今朝青木栄雄女母堂逝去、報アリ 永田宗策、金赤百圓ヲ領ス外、又功残 金九拾金圓アリ（金人牛許、保司） 菅原松吉、并テ所傳贈、才二回分九百 九拾金圓ヲ受取リ 夫歸京予女未社、夫存貨金三万圓ノ内 才万圓ヲ託書川柳、返ス、貸金ハ正友 名義ナリ 午後四時二十分迄、古大藏、青木女宅、海、 寺、渡、殿、焼香ニテ、歸、六時			

時	刻	時	刻
時	刻	時	刻
朝九時着、改車、壽美神、テリ、持、着 長田新、若、模、様、二日、夕、地、去、下、神 ノ、事、トス 午後一時半中野忠、夜、女、来、訪 午後三時、若、鴨、女、母、有、着、若、井、若、参、 若、井、若、山、即、之、身、ハ、男、金、計、不、在、持、金、四、島 ノ、身、リ、若、若、事、亦、セ、用、林、山、若、若、 （各、六、拾、五、圓）及、右、田、眼、元、信、筆、若、鳥、ノ、双 福、（石、五、拾、圓）ヲ、贈、リ、外、木、村、孔、恭、若、若、 山、ノ、福、（五、百、圓）ヲ、授、リ、来、ル、（北、若、若、若、若、 カ、ナ、若、若、若、若、也			

晴	十一時や社	午後一時帰宅、版家ラ、文、青木、茶雄、母堂、芝路、上手、八、告別式、赴、青、天、全、件、三、時、半、帰、	並く人ととも、入、死、々、年、	名士、河野、廣中、及、津田、万、武、男、死、去、
---	-------	--	-----------------	--------------------------

十二時 當用日記補遺

當用日記第一目の欄に備はるも、終極に漢あり、臨時必要の事生じたるに當り、若くは旅行中日の足跡を記さんとする時の如き、記事轉換するに際しては、前日の足跡を名付て事なしとなさす、是れ普通體の條ある所にして、事は前日の實を全うしめんと欲するに外ならざるなり

